

議会だより

みほ

2018.2.1

No. 120

茨城県美浦村議会

<http://www.vill.miho.lg.jp/page/dir000035.html>



阿井英二郎氏熱血指導！ 元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチ

平成 29 年第 4 回定例会 ②

一般質問 ⑤

視察報告 ⑫

議員活動 ⑮

平成 29 年第 4 回定例会

平成 29 年第 4 回定例会は、12 月 5 日から 15 日までの 11 日間で行われ、村長提出議案として、人事案件 1 件、専決処分 1 件、村道路線廃止 1 件、条例改正 5 件、補正予算 4 件、その他議案 1 件が原案のとおり適任・同意・可決され、条例制定の 1 議案については修正可決されました。

一般質問は 14 日に行われ、7 人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

「議案第 8 号美浦村農業委員会の委員及び美浦村農地利用最適化推進委員の定数を定める条例」に対する修正動議が提出され、審議の結果、修正案が可決されました。

美浦村農業委員会の委員及び美浦村農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の修正動議を可決

修正内容

石川議員から議長へ、動議による修正案が提出された。

修正内容は、条例中、農業委員の定数を「11 人」から「9 人」に改めるものである。

提出理由

「現行の半分程度」とする国の指針や近隣の町の農業委員の定数を考慮した場合、本村の根幹的産業の一つである農業において、計画的かつ効率的な農地利用等に対し、農業委員が主導的な立場であることを考慮したうえでも、本村における農業委員の定数は、9 名が妥当であると考え

ため修正するものである。

討論

原案に賛成

小泉副議長 農業を取り巻くこれから起こり得る、農地の集約化等への、周知・意見交換・調整と農業委員にはこれまで以上に活発かつ機動的な活動が求められることを考慮すれば、11 名が妥当であるため原案に賛成する。

修正案に賛成

椎名議員 国からの指針や村を取り巻く環境、財政状況を考えた場合、9 名が妥当であるため修正案に賛成する。

修正動議って？

議案の内容に対し、議員は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

補正予算

補正予算を可決

今回の補正予算は、緊急性を要する事業及び国、県の補助事業に係るものについて計上しています。

会計名	補正額	予算総額
一般会計	8,129 万 4 千円	56 億 273 万 9 千円
特別会計	国民健康保険	22 億 4,535 万円
	公共下水道事業	9 億 8,861 万 8 千円
	介護保険	11 億 2,890 万 6 千円

人権擁護委員候補者の推薦

村長より、次の方を引き続き法務大臣に推薦することについて意見を求める諮問が提出され、異議なき旨を答申しました。

内田 光子 氏 (大谷)

◆◆◆ その他の議案と審議内容 ◆◆◆

区分	議案	議案内容
条例制定・改正	美浦村農業委員会の委員及び美浦村農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	「農業委員会等に関する法律」改正法が施行されたことにより、農業委員を議会の同意を得て村長が任命することとなったことに加え、各地域において農地利用の最適化を推進する「農地利用最適化推進委員」が新設されたことに伴い、各委員の定数を定めるもの
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	個人番号利用事務を行うため、所要の改正を行うとともに、規定の整備を行うもの
	美浦村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	法律の改正に伴い、所要の改正を行うとともに、規定の整備を行うもの
	美浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	納期改正により、所得確定後の賦課による課税額の明確化が図られ、納期数を増やすことにより被保険者の毎期ごとの負担を軽減するもの
	美浦村光と風の丘公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	現在の全面のみの貸し出しに加え、半面ずつの貸し出しを行うことにより、多目的競技場の有効活用を図るためのもの
	美浦村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬及び費用弁償について定めるもの
その他	専決処分の承認 (平成 29 年美浦村一般会計補正予算(第 3 号))	【補正額 942 万 6 千円の追加】 衆議院議員選挙費及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に必要な経費の増額補正
	村道路線の廃止について	払下げの手続を進めるため 1 路線の廃止
	稲敷地方広域市町村圏事務組合規約の変更について	広域市町村圏計画策定を現計画の期間終了年度をもって廃止するために改正するもの



平成 29 年第 4 回定例会議案・審議結果一覧

会期：平成 29 年 12 月 5 日～ 12 月 15 日

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名														
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳	
諮問1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1号	専決処分の承認を求めることについて (平成 29 年度美浦村一般会計補正予算 (第 3 号))	原案承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2号	村道路線の廃止について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3号	稲敷地方広域市町村圏事務組合規約の変更について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5号	美浦村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6号	美浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7号	美浦村光と風の丘公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8号	美浦村農業委員会の委員及び美浦村農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	修正可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9号	美浦村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10号	平成 29 年度美浦村一般会計補正予算(第 4 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11号	平成 29 年度美浦村国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12号	平成 29 年度美浦村公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13号	平成 29 年度美浦村介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8号修正	美浦村農業委員会の委員及び美浦村農地利用最適化推進委員の定数を定める条例に対する修正動議	可決	11	2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※議長(沼崎 光芳議員)は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

議会報告会を開催します

日時：平成 30 年 2 月 17 日(土) 午前 10 時～正午

場所：みほふれ愛プラザ 2 階研修室

内容・議員の定数、報酬について

- ・常任委員会からの報告
- ・意見交換会

ふれ愛プラザだよ!



ふるさと納税について



いいだ ようじ
 飯田 洋司
 議員

質問 ふるさと納税の納税額を増やすための方法、対応などを伺う。

答弁 (総務部長) 平成29年度は、返礼品提供事業所を5事業所追加し、返礼品の充実を図った。また、NHK出版、9月発行のきょうの料理、11月発行の朝日新聞夕刊の折り込みの有料広告を掲載している。今後は、納税額の多い自治体の返礼品やウェブサイトの見せ方、職員でアイデアを出し合い返礼品の掘り起こしを行うとともに、さらなる調査・研究をしていきたい。



マイナンバー登録について

質問 現在までの登録状況と登録を増やすための計画などを伺う。

答弁 (総務部長) マイナンバーカードの交付件数は1451件、村民全体の9.2%となっている。マイナン



バーカード取得促進の対応としては、第2、第4水曜日に窓口開庁時間を延長、月1回休日交付窓口の設置、無料写真撮影などを行った。また、村ホームページ、広報誌でのお知らせや確定申告会場でのPRを計画している。さらに、証明書等のコンビニ交付サービスについて、導入費用、交付する証明書の種類など今年度末までに結論を出し、平成31年度には導入したいと考えている。

平成29年度新事業
 地域未来塾について

質問 未来塾の登録数、実施回数及び今後の方針などを伺う。



答弁 (教育次長) 地域未来塾の登録数は29名で、実施回数は7月の開校から29回実施し、今年度あと13回を予定している。今後は、コーディネーターの配置や、出席しやすいよう実施日、実施回数の検討をし、さらなる拡充を図っていく。



一 般 質 問

「稲敷エリア広域バス」について



やまざき さちこ
山崎 幸子
議員

質問 広域バス実証運行で、これまでの乗車人数は。

答弁 (総務部長) 美浦く龍ヶ崎ルートでは、延べ1941人、1便当たり1人。

質問 乗りたくてもバス停が遠いという声が聞かれるが、バス停の増設の見込みはあるのか。また、広域バスのチラシの中に、広域バス停から路線バス等への乗り継ぎ方法の明記はできないか。

答弁 (総務部長) 起終点を「みほふれ愛プラザ」まで延

伸し、「竜ヶ崎第二高校」他

3か所にバス停を増設し、江戸崎・阿見ルートでは荒川沖乗り入れが可能となった。路線バス等への乗り継ぎ停留所は数多くあるので、明記方法等研究していきたい。

質問 バス運行の無い地区からふれ愛プラザまで、10人乗りワゴン車等での定期運行ルートを設けることはできないか。

答弁 (村長) 美浦村のデマンドが年間約1440万円がかかっていて、2便でやっているものを1便増やして定期的に出すのは難しい。



「125号バイパス」について

質問 125号バイパスの今後の予定は。

答弁 (経済建設部長) 県で1億5千万円の補正予算が付いたので、平成30年度上半期を目途にトレセン進入路までの供用開始が予定されている。

答弁 (村長) トレセン進入路から先の稲敷市の部分については一部買収の済んでいないところもあると聞いている。大井川知事から個別の市町村での要請ではなく幾つかが一緒になって要請を出して欲しいと言われているので、色々な状況を踏まえて稲敷市とも一緒になって進めていきたい。

「村民体育祭」について

質問 本年度の体育祭の開催状況と内容は。

答弁 (教育次長) 地域対抗種目への参加は13地区、延べ977名、一般参加種目は80名。その内、すべての種目に参加した地区は8地区であった。

質問 今後の方向性は。
答弁 (村長) 体育祭を行うのか、スポーツフェスティバル的な違うイベントにするのか、色々な団体の意見を吸い上げ、その上で判断して考えていこうと思う。



平成30年度水田農業に関する村の対応は



しもむら ひろし
下村 宏
議員

質問 平成30年度以降は、国からの直接支払い交付金もなくなり、生産目標数量の配分も行わないとしており、稲作農家は大変困惑している。平成30年度以降の米の需給均衡化対策はどうするのか、米の価格は維持できるのか等の問題が心配されている。

美浦村として、現時点で来年度以降の水田農業生産調整に対して、どのような考え方で対応していくのか尋ねる。

答弁 (経済建設部長) 茨城県は、平成30年産から32年産の3か年は、平成30年度以降

の需要に応じた生産に係る基本方針に基づき、関係機関が連携して平成30年産以降の需要に応じた生産を、円滑かつ着実に進めていくとした。村は、県が示す市町村別生産数量目標に従い、平成30年度版の水田フル活用ビジョンを策定し、生産数量目標を生産者に提示することになる。平成30年度以降もこれまで同様、生産協議会を中心として生産調整の推進に取り組んでいきたい。

質問 国の交付金がなくなり、米価が下がり、補助金減額となると農業が維持できなくなり、農地を借りる担い手もなくなり、農地が荒廃してしまう。水田農業を守るため、国・県への働きかけと、来年度の水田農業経営所得安定対策の予算編成に当たって、村

長の考えは。

答弁 (村長) 国・県には、全国の米の需要見通しを示し、的確な情報提供と経営所得安定対策に必要な予算を確保するよう働きかけていく。

本村は、農家の経営安定対策の意味からも、昨年同様の予算措置をしたいと考えている。基幹産業である農業を衰退させないよう、助成できるところは応援をしていく。



公契約の入札状況について

質問 村の契約業務は、税金の支出に係る大変重要な業務である。不正が起きないように透明性を持たせ、多くの人の目にさらして公平公正に行わなければならない。

本年4月から11月末までの

入札状況と契約の結果及び公表の方法を尋ねる。

答弁 (総務部長) 入札状況は資料のとおりとなっており、公表方法については、村ホームページ、日刊建設新聞などへの掲載、企画財政課窓口での入札調書閲覧の3つの公表を実施している。

質問 今後も村民の満足いく方法で公表に努めてもらいたい。

次に、平均落札率及び村内業者の工事・備品等の平均落札率を尋ねる。

答弁 (総務部長) 工事の入札は26件で、平均落札率は97・52%、物品調達の入札は23件で、平均落札率は86・27%、うち村内業者の指名競争入札は、工事で23件、平均落札率は97・78%、物品調達は11件で、平均落札率は86・27%である。



一般質問

児童虐待について



まつむら ひろし
松村 広志
議員

質問 児童虐待の増加が止まらない。全国の児童相談所が統計を取り始めた1990年は1101件であったのに対し、2016年には、12万2578件と100倍以上に達している。虐待には、殴る・蹴る等の身的虐待、子どもへの性行為・ポルノグラフィの被写体にする等の性的虐待、家に閉じ込める・食事を与えない等の育児放棄（ネグレクト）、言葉による脅し・無視等の心的虐待がある。中でも特に心的虐待が全体の増加を大きく押し上げている。本村の現状を伺う。

答弁（保健福祉部長） 残念ながら本村でも、毎年数件の確認がされており増加傾向にある。相談内容については、緊急かつ高度な専門対応が求められるものが多く、育児不安や身近な子育てに関する相談も増加している。今後は行政並びに相談所をはじめ、学校・警察・医療機関等による強い連携の上、総合的な支援体制の構築を考えていきたい。

質問 児童虐待を考える時、なぜ可愛いはずの我が子に虐待してしまうのか、という疑問が生じる。本人たちは、一度感情が高ぶると我を忘れてしまつと話す。心理学に「メタ認知」という用語があるが、これは自身の行動や思考を把握し制御する能力のことである。先日行われた、阿井英二郎さんの講演でも取り上げら

れていたが、現代の社会性を問う上でも、大事な視点と考えられる。近年、メディア等で取り上げられる有名人や政治家等の暴言や無責任な行動も、実はこのメタ認知能力の欠落が招いているとされる。しかし、児童虐待の問題も含め、背景には社会全体にこの能力の低下があるのでないか。結果、人間社会に理性や道徳性の損失を招いている、と思える。先の阿井さんの講演等を機会としながら、より快適で暮らしやすい本村の環境づくりに向け、行政側からのよりメタ(高度)な取り組み、働きかけが出来ないか意向を問う。



答弁（保健福祉部長） 児童虐待の問題も含め、メタ認知能力向上の取り組みは有用である。特に、子供など弱い立場にある方への安全・安心に繋げていくためにも、今後は本村内の関係課や関係機関等と連携協力しながら、改善・向上に向け努めて参りたい。

質問 災害時における避難行動要支援者への対策・取り組みはごままで進んでいるか。

答弁（保健福祉部長） これまでに要支援者の把握はもとより、個別訪問により身体状況や緊急連絡先等の確認を行ってきた。併せて避難先や避難ルート等の説明も行ってきたところである。村民の生命が第一である。想定外も含め災害への備えを万全にして参りたい。

災害時の要支援者の避難について

第7期介護保険事業



おかざわ きよし
 岡沢 清
 議員

質問 介護保険料はどのようなのか。

答弁 (保健福祉部長) 今後、超高齢化社会が到来し、介護保険料の上昇は避けられない。平成30年から32年までの介護給付費、地域支援事業費を適切に見込んで、保険料基準額を設定していきたい。



答弁 (保健福祉部長) まずは、協議体の設置を行い、その後、コーディネーターの配置を進める。社会福祉協議会と協議しながら、第7期計画での実施を見込む。



質問 総合事業の包括的支援事業に位置付けられた生活支援体制整備事業。具体的には、生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置は、どうなるのか。

質問 初期認知症集中支援チームと認知症地域支援推進員は設置されているのか。

答弁 (保健福祉部長) 村内に認知症に特化したところもないことから、稲敷市内の医療機関と委託契約を締結する方向で検討している。

広報みほの表紙の写真のカラー化を求める



質問 広報の表紙を年間通して、カラーにすべきだと思いが。

答弁 (総務部長) 経費を削減しようと、表紙のカラーは年2回としてきた。今後から、広報誌に有料広告の掲載を検討し、財源確保を図りたい。一人でも多くの方に読みたいと思われる広報誌にしたい。

答弁 (村長) 4月号からカラーにするために、有料広告を依頼して載せてもらう。そういう事業者がでてきたら、早速、カラー化に踏み込んでいきたい。



一 般 質 問

太陽光発電施設について



たけべ すみお
竹部 澄雄
議員

用の申請に対してどのような審査基準があるのか。

答弁（経済建設部長） 農地

質問 美浦村管内における太陽光発電施設建設予定数は。

答弁（経済建設部長） 太陽

光発電施設の適正な設置管理に関するガイドラインに基づき、事業者から、これまで5件の概要書が提出され、1件は増設工事が完了しているため4件が建設予定地となっている。また、太陽光発電施設を目的とした農地転用許可及び、林地開発許可が6件と把握している。

質問 農業委員会では、太陽光発電施設建設による農地転

を守るための対応と、今後想定される問題を伺う。

答弁（経済建設部長） 建設

転用に関しては都道府県知事の許可が必要とされている。審査基準については、農用地区域10ヘクタール以上の一団の農地、土地改良が行われた農地、生産性の高い農地等は原則として不許可である。その他の農地は、許可案件であるが太陽光発電の構造などの審査基準はなく、農業委員会と生活環境課で連携をとり、県のガイドラインに沿ったお願いを実施しているところである。

質問 農地や住宅地、空き地に建設される50キロワット以下の太陽光発電施設で地域住民にさまざまな問題が発生しているが、村として生活環境

を守るための対応と、今後想定される問題を伺う。

答弁（経済建設部長） 原則

としてガイドライン策定後に工事を行う事業者には適用されるが、それ以前から行っている事業者においてもガイドラインに沿って対応することが示されている。本村においては、ガイドラインの趣旨を踏まえ、10キロワット以上の太陽光発電施設については、ガイドライン策定以前に設置されたものを含め、緊急の場合に連絡がとれるよう、事業者名、緊急連絡先等の表示をお願いしている。村としてもトラブル発生時には速やかに対処したいと考えている。

質問 F-I-T法の改正により発電施設へのフェンスの設置、管理表の設置が義務付けられたが、20キロワット未満の発電施設で管理表、フェンスがない施設に対して村としてどのように対処するのか。

答弁（経済建設部長） 太陽

光発電施設に関する苦情、相談は、生活環境課が窓口となっている。

「健康づくり」のついで



はやし しょうこ
林 昌子
議員

防災災害対策について

質問 健康ポイント制の導入で健康に対する意識づけはできないか。

答弁 (保健福祉部長) 既に導入している他自治体の事業内容、継続性、効果などの検証結果を研究し、特色ある健康づくりを模索しつつ、既存の事業を拡大して実績につなげたい。

質問 定期的な「ふれ愛プラザ」の活用について。

答弁 (保健福祉部長) 街の保健室の事業を今年度は、ふれ愛プラザで実施する予定。開催のPRをし、参加者を増やし健康維持、増進のため定期的な事業にしたい。

質問 健康散策コースの新設とPRについて。

答弁 (保健福祉部長) 美浦村では、光と風の丘公園コースと木原城址城山公園コースがいばらきヘルスロードとして県の指定を受けている。健康づくりのため安心して歩ける美浦村ヘルスロードを身近な資源として、ホームページ、保健センター、ふれ愛プラザ、公民館等の公共施設にチラシを配置している。

質問 健康ポイント導入、健康散策コースは担当課だけでは難しい。村内や近隣市町からボランティアを公募してはどうか。

答弁 (村長) 人生の中でやっぱり健康が一番だと思ふ。村でもそういう組織を立ち上げられることは望ましいことなので、いろんな意見をいただきながら、地域おこし隊のようないいものを美浦村の中で立ち上げられることを期待している。

質問 災害時に命を守る方法を身につけるために小学生に「防災博士認定講座」の導入をしたらどうか。

答弁 (総務部長) 教育委員会と連携を図り、防災知識の学習、向上を目的とした各小学校の防災教室にいなほ消防署及び美浦村消防団と協力し啓発等に努めていく。

質問 小学6年生を対象に「認定証」を発行する講座の計画が可能か。

答弁 (教育長) 村の防災訓練実施にあたり、村内各小学校の小学生に参加を呼びかけ、いなほ消防署による防災講座を開講し、講座の修了者には修了証の贈呈を検討し、より一層児童の防災意識が向上するように努める。

質問 美浦村の活性化のため、また、生きがいのある人生を送っていただくため神奈川県愛川町で導入の「町民総ぐるみ健康づくり」などの取り組みはできないか。

答弁 (保健福祉部長) 特定健康診査受診率平成27年度愛川町32・7%、美浦村42・0%、また、本村は平成28年度特定保健指導受診率においても、伸び率県内3位となっており、現在取り組んでいる第2次健康づくり計画に基づき推進していくことが大切と考ええる。



視察研修報告

◆総務常任委員会

【視察日】

平成29年10月5日～6日

【視察先】

○長野県上伊那郡南箕輪村役場
○山梨県中央市「山梨県立防災安全センター」

【視察目的】

○議会改革調査において、『村』の部で、4年連続第1位になっている南箕輪村の議会改革の取り組みについて

○防災安全センターでは、『地域防災』について

【参加議員】

下村 宏・山崎幸子・沼崎光芳・塚本光司・松村広志

【視察内容】

1日目、南箕輪村役場で議会改革の取り組みについて研修を行った。

本村と同様、住民投票により平成の大合併をせず自立を選択、その際、議員定数も16名から10名に減らし議員歳費の削減を図った。現在は、先駆けて行った子育て施策等が

浸透し、人口が毎年増え、自治体規模も膨らんできたため、議員定数検討特別委員会を設置し、定数の増を視野に検討を始めたそうだ。

議会活性化については、各種団体との懇談会を複数開催、本会議のネット動画配信など見習うべきところを痛感した。



南箕輪村役場にて研修

翌日は、山梨県立防災センターにおいて、講師より経験に基づいた災害時の緊急対応や簡易トイレの作り方等を体験した。東日本大震災で右往左往したことを思い出し、備えの重要性を改めて再認識させられた。

◆厚生文教常任委員会

【視察日】

平成29年10月19日～20日

【視察先】

○長野県諏訪郡富士見町役場
○神奈川県愛甲郡愛川町役場

【視察目的】

○地域未来塾『グロリアップ講座』の取り組みについて
○愛川健康のまち宣言を軸に町民総ぐるみで健康づくりを進める取り組みについて

【参加議員】

林 昌子・飯田洋司・石川 修・小泉輝忠・竹部澄雄

【視察内容】

1日目は、富士見町を訪れた。

今、富士見町では地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり、保育園や学校を核とした地域コミュニティの形成をめざしている。その取り組みの一環として、学習ボランティアの支援を受け、富士見中学校でグロリアップ講座を実施している。講座は全学年を対象に水曜の放課後に実施している『夕学』や、3年生を対象に10月から3月まで高

校入試に向けて実施している『朝学』などがあり、平成28年度は合計3337人の生徒が参加している。

2日目の愛川町では、町民総ぐるみで健康づくりを進める取り組みについてご教授いただいた。

愛川町は、地域や事業所、家庭で町民が一体となって自主的な健康づくりを進めるため、平成28年7月に愛川健康のまち宣言を行い、健康ポイント事業の開始や、愛川リフレッシュ体操、モデル地区健康づくり事業などにより健康づくりを支援している。



愛川町役場にて研修

両町とも地域と連携したすばらしい取り組みであった。

◆**経済建設常任委員会**

【視察日】

平成29年10月12日～13日

【視察先】

○山梨県下水道公社「釜無川浄化センター」

○山梨県南都留郡山中湖村役場

【視察目的】

○計画的な処理施設増設について

○山中湖の水上安全や静穏の保全について

【参加議員】 椎名利夫・岡沢清・小泉嘉忠・葉梨公一

【視察内容】

処理人口増加に伴う段階的な施設増設について、葦崎市等7市町の汚水を一括処理する釜無川浄化センターを視察した。終末処理場として、平成5年4月に供用を開始し、その後、流入量の増加により段階的に増設を行い現在8基で運用しており、汚水は標準活性汚泥法により処理されていた。翌13日は山中湖村役場において山中湖の水上安全や静穏の保全について研修を行った。山中湖の利用については、富士五湖水上安全条例・同静

穏の保全に関する条例などにより遵守事項が定められている。条例の趣旨は、水上における交通の安全と事故の防止等を図るため、船舶の航法や酒酔い操縦の禁止、各種大会等の開催の許可を定めたものである。

各条例の運用に係る山中湖村の取り組みや、山梨県及び警察署との連携、役割分担、両条例による効果と運用上の問題点、各種トラブル等非常に難しい問題があることを理解できた。



山中湖村役場にて研修

霞ヶ浦においても、湖面は自由水面で誰が使ってもよいことから、何らかの対策を講じなければならぬが、非常に難しい問題である。

◆**龍ヶ崎地方衛生組合**

【視察日】

平成29年10月31日～11月2日

【視察先】

○熊本県熊本市議会議事事務局

○有明広域行政事務組合

○佐賀県武雄市図書館

【参加議員】 石川 修・小泉嘉忠

【視察内容】

災害発生時のし尿処理施設の対応や議会議員の役割や対応について、昨年、大規模災害が発生した熊本県熊本市や熊本県にある有明広域行政事務組合で当時の状況等について研修することにより、今後の組合及び構成市町村での災害対策の参考とする。



熊本市役所にて研修

また、有明広域行政事務組合は複合的の一部事務組合であることから、複合的の一部事務組合の組織運営について研修することにより、今後の組織運営の参考とする。

さらに、新しいスタイルの図書館として注目されている武雄市図書館の視察研修を行い、構成市町村の教育行政の参考とする。



有明広域行政事務組合にて

熊本市議会議事事務局としては、地震発生後通信状態が悪く、議員の安否確認に時間を要したが、連絡に通信アプリケーション（ライン）利用が大変便利で有効なツールであったそうです。



◆稲敷地方広域事務組合

【視察日】

平成29年11月8日～10日

【視察先】

○三重県津市消防本部

○和歌山県土砂災害啓発センター

○和歌山県那賀消防組合

【視察目的】

○稲敷地方広域市町村圏事務組合のより一層の進展と広域行財政の効率化に資するため、組合議会による視察研修を行う。

【参加議員】 林 昌子・飯田 洋司

【視察内容】

津市消防は、平成18年1月、10市町村の合併に伴い新しい津市消防として発足した。



津市消防本部にて研修

火災をはじめ複雑多様化する様々な災害から、市民と郷土を守るため、消防力の向上と充実に努めながら、幅広い活動を展開していた。

土砂災害啓発センターは、平成23年紀伊半島大水害により甚大な被害を受けた那智勝浦町に、和歌山県が土砂災害に関する研究及び啓発の拠点となる施設として設置された。1階でパネルや映像を使った土砂災害に関する啓発活動を行い、2階には、国の大規模土砂災害対策技術センター・大規模土砂災害対策研究機構があり、土砂災害の発生メカニズム等について研究を進めていた。

那賀消防組合は、消防本部庁舎内に災害対策の中核施設として、高機能消防指令センターや予防、救急研修、体験等災害に備えた諸機能を有した防災センターを平成5年6月に開館した。市民の防火・防災・救急等の研修施設として、多くの市民の皆さんに活用されており、市民参加の啓発事業が展開されていた。

◆美浦村議会議員会

【視察日】

平成29年11月15日～17日

【視察先】

○沖縄県中頭郡北中城村役場

○沖縄県嘉手納町「道の駅かでな」

○沖縄県国頭郡宜野座村「I-Tオペレーションパーク」

【視察目的】

○これからの議会活動の活性化及びさらなる村政の推進のため、先進地を視察、研修し知見を深め今後の議論の参考にする。

【参加議員】 参加13名【欠席1名】

【視察内容】

北中城村は、女性長寿日本一の村として全国に知られている。長寿の要因として北中城村の高齢者は、食事・運動・休養・環境・風土のバランスがよいと考えられている。そしてなにより人と人、地域とのつながり・支えあいの大切さと、いくつになっても社会活動への参加など積極的に活動することが大切ということである。

しかし、沖縄県は20歳から

65歳の死亡率が全国ワースト1位という大きな課題もある。男女ともに長寿日本一の村を目指し、健康で長寿を応援する取り組みを行っていた。



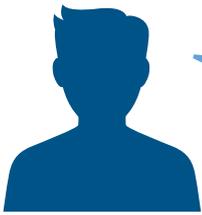
北中城村役場にて研修

宜野座村「I-Tオペレーションパーク」は、日本で最初の本格的公設IDC（インターネットデータセンター）を備えた施設であり、企業誘致、雇用の創出など大いに本村の参考になった。

「道の駅かでな」は、展望台から米軍嘉手納飛行場が一望できる観光スポットを活かした地域拠点の地であり、修学旅行生など観光客を溢れんばかり集客しており、大変な賑わいだった。



1 2 月定例会に傍聴にいらした方にアンケートのご協力をお願いしました。
多数のご意見をいただきましたので、一部をご紹介します。



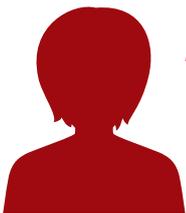
男性

議会傍聴は数回経験があるが、審議内容の細かな事は、説明時間も少なく十分に理解する迄行かない事と、質問や回答関係者も声に元気なく、特に役所側の回答の声が小さく、元気がない。質問事項についても、現実の問題を議員さん、行政も充分理解していないのではないかとと思うことが多い。議員諸氏はもちろん行政側職員ももっと現場の実情の把握と実態の理解につとめ、実情にあった政策の提言、実施を充分検討してほしいものです。



女性

初めて議会の傍聴をさせて頂きました。村のいろいろな問題点を聞く事が出来、勉強になりました。美浦村に住んでいても知らないことが沢山ありますが、これからこの様な機会がありましたら関心を持ち参加したいと思えます。



女性

村の状況等を、わかりやすく知ることができ、参加できて良かったです。ふれ愛プラザ内に健康相談コーナーを設けて、気軽に血圧測定や動脈硬化指数等ができたらいと思います。

ご協力ありがとうございました。



議員活動

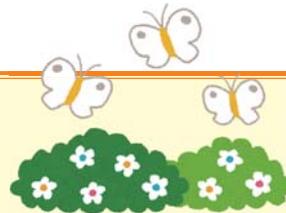
11月	1日	町村交流会
	2日	美浦横越交流協会来村に伴う歓迎会 稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会・全員協議会
	3日	みほ産業文化フェスティバル
	5日	2017 いばらきまつり
	6日	群馬県中之条町議会視察研修受入れ
	8日	稲敷地方広域市町村圏事務組合行財政視察研修～10日 平成28・29年度稲敷郡教育研究会・美浦村教育研究会委嘱公開授業
	9日	江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会
	11日	第7回郵便局主催美浦村輪投げ大会
	13日	県南の未来を考える議員の会第6回視察研修会 4団体と知事との県政要望懇談会
	15日	議員会県外視察研修～17日
	20日	平成29年度定期監査～22日 美浦村民生委員児童委員の退任に伴う推薦会 地方自治法施行70周年記念式典 国会議員と地方六団体との意見交換会
	21日	全国町村議会議長会懇談会 埼玉県上里町議会視察研修受入れ 喜寿お祝い会
	22日	第61回町村議会議長全国大会 美浦村社会教育委員会議
	23日	平成29年度県南町村会地方行政等視察研修会～25日
	12月	1日
3日		稲敷郡・龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市社会教育委員連絡協議会 ノーテレビ・ノーゲーム運動講演会
4日		美浦村国民健康保険運営協議会

12月	5日	議会定例会 議会全員協議会
	6日	議会総務常任委員会 議会経済建設常任委員会
	7日	議会厚生文教常任委員会
	10日	美浦ステークス
	11日	第8回美浦村人・農地プラン検討委員会
	12日	議会全員協議会 議会地方自治研究会 議会広報公聴委員会 芸術鑑賞会
	14日	議会定例会
	15日	議会定例会
	19日	美浦村地域自立支援協議会
	20日	美浦村地域担い手育成総合支援協議会 美浦村高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会
1月	21日	村例月出納検査
	22日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査
	27日	美浦村地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会 美浦村健康づくり推進協議会 平成29年度茨城県都市計画審議会
	6日	美浦村消防出初式
	7日	美浦村成人式典
	9日	第68回千鳥会
	15日	議会地方自治研究会
	16日	茨城県市町村振興協会第1回定例理事会
	17日	議会広報公聴委員会
	18日	茨城県町村会・町村議会議長合同会議第1回役員会
	19日	美浦村新春賀詞交歓会
21日	平成29年度稲北地区青少年育成市町村民連絡会研修	
22日	平成30年度県南町村負担金審議委員会	
24日	議会運営委員会視察研修～25日	
26日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査 茨城県町村会・町村議会議長合同会議第1回定例会	
29日	美浦村自立支援協議会 村例月出納検査	
30日	茨城県市町村総合事務組合議会定例会 市町村負担金審議委員会	
31日	江戸崎地方衛生土木組合議会視察研修～2日	

次回定例会は、3月6日（火）開会予定です。

議会を傍聴してみませんか

- 役場3階の議場まで新設のエレベーターでお越しいただけるようになりました
- 役場1階のロビーでも本会議の実況をご覧になることができます
- 会議録や議会だよりなどホームページに掲載しています
- 議会だよりについてのご意見・ご要望をお待ちしています



お問い合わせ先
議会事務局

☎ 029-885-0340 内線 301・302

E-mail gikai@vill.miho.lg.jp

URL <http://www.vill.miho.lg.jp/page/dir000035.html>

議会広報公聴委員会

委員長	山崎 幸子	副委員長	岡沢 清	委員	椎名 利夫
委員	飯田 洋司	委員	塚本 光司	委員	小泉 嘉忠
委員	葉梨 公一	委員	竹部 澄雄	委員	松村 広志